



社会人として生きる指針の発見

平成24年11月21日

株式会社ハレックス
代表取締役社長
越智 正昭

社会人とは(1)

社会人とは

社会に参加している人のこと

社会で**責任**を持って生活している人

【狭義では】

社会人=労働者(職業人)と言った意味合いも強い。

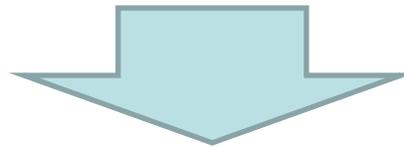
【さらに狭義では】

現代日本のような会社社会(会社と社会が同一視されるような社会)にあっては、社会人になることは会社員になることとほぼ同義化されており、会社組織に所属して一定の雇用上の地位を得ること(例えば正社員となること)を指し示すことが多い。

社会人とは(2)

社会人は、実社会で**権利と義務の主体**といわれていて、**社会人になった時点で人格が完成しているものとみなされる**。意思が尊重される反面、故意や過失などに対しては、多くの場合制裁を受け、個人の事情が特に配慮されて許されることは比較的少ないといわれている。

一般に社会人の始期は学校を卒業・修了し、就職した時点であることが多いが、同世代がほぼ全員大学を卒業する**20代半ばには、全員が社会人として待遇されることが多い**。社会人の終期は、60歳程度であることが多く、一般的に定年に達することなどによって退職を迎えた時点である。しかし、60歳を超えても再就職して社会人であり続ける人もいる。



社会人の場合、ある程度**責任ある仕事(職)**を持ち、**家族の生活を支え、現実的な思考**をしている姿が求められる。

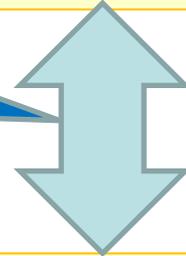
仕事選びの基本

「自分に合った仕事」を探すにあたっては、得意分野を活かせそうな仕事など、他人よりも情熱を注げそうな仕事を探すことが基本

◆「賃金を得ること」を念頭におけ
(社会的責任が伴うことをきちんと自覚すること)

自分の仕事が、いかに人や社会のために役立ち、利益が返ってくるだけの**価値**があるのか(自分の労働力に、賃金を支払ってもらえるだけの**価値**があるのか)

一見矛盾するような、**180度逆の2つの視点**が最も重要



◆「賃金を得ること」など**二の次に考えよ**
(安易な気持ちで職業は長続きしない)

生活の手段として賃金を得ることが、職業における重要な側面であることは否めません。しかし、上記のように、社会的責任が伴うことに注意すると、「賃金さえもらえればどの仕事でもよい」というわけにはいきません。

時には「賃金を得ること」を念頭において社会的責任が伴うことに注意し、時には「賃金を得ること」を二の次に考えて「賃金なしでもやってみたいほどの仕事は何か」という視点で考えることが、より自分に合った仕事を見つけるうえで重要なことだと考えています。

学生と社会人との違いあれこれ

①時間軸の違い

社会人の時間軸は**あまりに長い**。

②評価される尺度の違い

テストの成績のような絶対的な尺度は残念ながら存在しない。

あくまでも周囲の人の評価尺度で評価。

評価の基本は**“期待度”**

③授業料を払って学ぶ/給料を貰いながら学ぶ…は決定的に違う

自ら気付き、成長する姿勢が重要。

誰かが「なんとかしてくれる」という“受け身”の姿勢ではダメ。

入社の面接で会社側が一番重要視するのは**“伸びしろ”**と**“自己成長力”**。

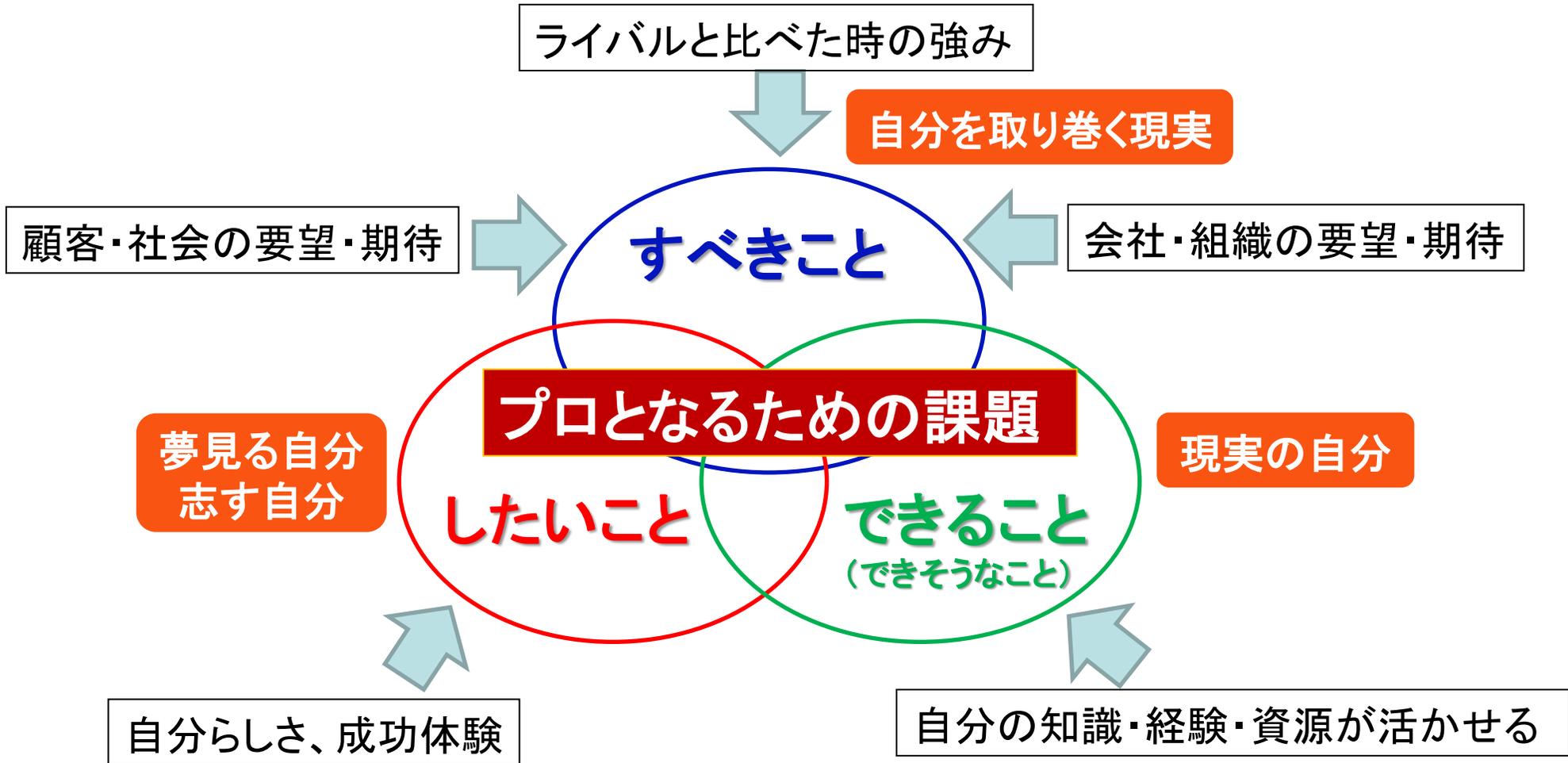
④問題解決型 / 課題発見&解決型の違い

仕事は与えられるものではなく、見つけるもの。

学校のテストには予め答えが用意されているが、仕事上の問題に明確な答えはない。

たいていは**極めて複雑な“連立方程式”**。

プロになるための条件



全ての仕事はこの「すべきこと」と「できること」と「したいこと」の微妙なバランスの上に成り立っている。

お仕事のABC

『**お仕事のABC**』とは……そもそも仕事の基本

A: 当たり前のことを B: ぼんやりしないで C: ちゃんとやれ!

ってこと。そのために心掛けておきたいことは以下の4点

①タイムリーな情報収集

(自分の周りの様々な情報の収集・分析を積極的に実施し、常に論理立てて整理しておくことが重要)

②経験の共有

(個人ですべてを経験することは不可能。他人の話をよく聞く努力をすることが重要)

③単調、退屈

(仕事の70~90%は単調・退屈なルーチンワーク。ともすれば日々の目先の仕事に追われがちになるが、常に気持ちを前向きに持って、**仕事に取り組む姿勢**が大事)

④マン・マン／マン・マシン

(人と人、そして人と機械の間でいかにいい関係を築くかという問題に積極的に**向かい合う姿勢**が重要)

すべては仕事に対する自分自身の“立ち位置”と“姿勢”で決まる!

日々反省、日々勉強

勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし by野村克也

成功は様々な要因が複雑に絡んで得られるものであるので、主たる成功要因は実は誰にも分からない。しかし、失敗の原因はほとんどが自分自身の中にあるものである。



失敗の中からこそ学ぶべきものは多い

『後悔』とは過去を変えようとする虚しい努力

『反省』とは未来を変えようとする前向きな努力

社会人として成功するためには

①これからは仕事に付加する“価値”が重要とされる時代

マニュアルに従った単純で単調な仕事は、いずれ機械やより安価な労働力(海外労働者、アルバイト等)に置き換わる。

10年前とは決定的に変わったのだが、まだまだ気づいていない人が多い。

自分の労働力に賃金を支払ってもらえるだけの**価値**があるのか…を考えることは重要なこと。

②会社は自己実現のためのフィールドという側面を持つ

社員は会社での仕事を通して、社会に価値を提供できる。

③コミュニケーション能力が高い人は、たいてい“聞き上手”

今は価値観が多様化している時代

あなたは神(絶対的な存在)ではない → 他の人のことを理解することが重要

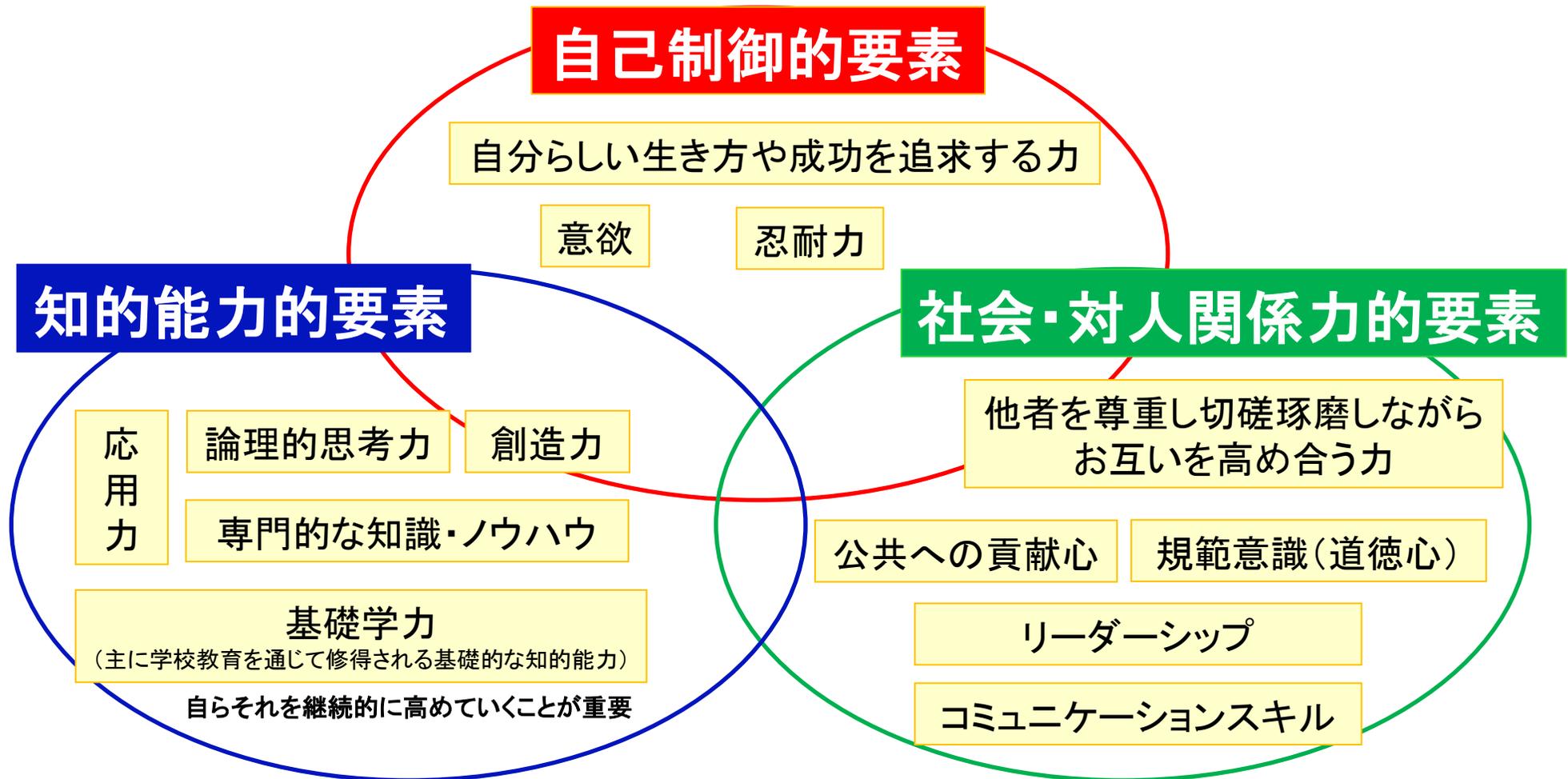
勉強とは過去の人の経験を共有すること。

お喋り=コミュニケーション能力が高い は完全な勘違い。

④最後は“人間力”の勝負

人間力とは

社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力



大学で学ぶということ

① 一気に見えてくる**世界が広がる**（社会観、世界観、価値観…等々）
町⇒周辺市町⇒県⇒全国、そしてワールドワイド(**世界**)

② **専門性の追及**（本当に勉強したいことの追及）

③ **比較的時間に余裕**ができる
その時間を自分自身の将来のため、どう使うかが重要
（社会に出たら、残念ながらこんな余裕はほぼなくなる）
4年間なんて、あっという間

④ “教えてもらう勉強”から**“自ら学ぶ勉強”への大事な移行期間**

高校や大学で是非やってほしいこと

文化祭や大学祭等の実行委員

- ・人のために働くということの練習。
- ・期間の決まったある共通の明確な目標に向かって、多くの人々が協同で物事にあたること（プロジェクト）の練習。

（私は高校の時に修学旅行委員長をやったことが、今に繋がる一番の勉強だったと思っています。）

学校行事のいろいろなことに積極的に関わること

- ・傷つくことと恐れていては、人間は磨かれない。
- ・すべてのことには意味がある。
- ・“何をやったか”ではなく、“そこから何を学んだか”が最も重要

【推薦図書】『もしドラ』
もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら



人間力を鍛える準備

さいごに

- ①“**責任感**”のある社会人とは、社会的責任をキチンと自覚し、常に責任を持って行動できる人のこと。
- ②**自立**した社会人とは、自分で考え責任を持って行動できる人のこと。
- ③**苦勞**に**苦勞**を重ねた分、それに見合った**報酬**を手に入れることができる。
- ④“ヒト”“モノ”“カネ”“時間”“情報”、すべての資源の中で“**時間**”だけは人類共通に与えられた唯一の資源
過ぎ去った時間は戻ってこない。今日という日を大切に！
- ⑤「**ありがとう**」は、なにより“**前向き**”な言葉。
- ⑥“**Impossible** (不可能)”ではなくて“**I’ m possible** (できるんです)”。

ご清聴、ありがとうございました

